

物理

一般選抜 学力試験 2 科目型入試前期/大学入学共通テスト併用型入試 1 期

■総評■（全体的な内容と傾向）

物理では大問として4つを出題し、主な単元である「力学」や「熱力学」、「波動」、「電磁気学」の4つの分野をそれぞれ取り扱う。

本試験では、文章および図から読み取れる事柄や条件より適切な公式や語句を選択し、解答してもらう。

各単元に関連する公式に対して物理量や単位を考慮した数値換算を踏まえ、正しく計算を行える力を確認する。

また各大問内ではいくつかの小問で構成され、小問間の繋がりを重視した問題を出題している。そのため、小問に従い問題を解いていくことで、より難題な問いも導ける工夫を取り入れている。

■出題分野・テーマ■

【大問1】

「力学」分野を出題している。

具体的には、ばねにおける「フックの法則」や弾性エネルギー等の力学的エネルギーを正しく理解しているかの確認を問う問題を出題している。

【大問2】

「熱力学」分野を出題している。

具体的には、温度の異なる物質間の熱の移動に関し、「熱量保存の法則」についての理解度を確認する問題を出題している。

【大問3】

「波動」分野を出題している。

具体的には、波の基本性質（波長、振動数、波の速さ）や固定端や自由端といった条件を正しく理解しているかの確認を問う問題を出題している。

【大問4】

「電磁気学」分野を出題している。

具体的には、電気回路において電圧、電流、抵抗の基本的な関係（オームの法則、抵抗の合成、分圧、分流）の理解度を確認する問題を出題している。